

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4110115799		
法人名	医療法人長生会		
事業所名	ケアホームどんぐり		
所在地	佐賀市嘉瀬町中原1676番地3		
自己評価作成日	令和5年3月30日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和5年4月27日	外部評価確定日	令和5年5月30日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>明るくアットホームな雰囲気の中で、利用者やご家族に寄り添い、意志を尊重して穏やかな生活ができるよう努めています。また利用者一人ひとりの有する力を活用し、役割を持って過ごしていただくことで生活意欲を高められるように努めています。毎月の誕生会や法人全体での秋祭り、季節の行事、イベントなどを行い、楽しんで過ごしていただけるよう取り組んでいます。敷地内には同一法人の病院があり、主治医や訪問看護に状態報告を密に行うことができ、医療と介護が連携して支援を行っています。近くには、森林公園に続くフラワーロードや幼稚園、小学校などがあり、散歩に出掛けると、子供たちの声が聞こえてきたり地域の方たちと挨拶を交わしたりすることで交流を深めています。例年は、地域の行事や保育園の園児たちとの交流にも力を入れています。また利用者のどんぐりでの生活状況や表情がわかるように、毎月どんぐりだよりを作成し、ご家族に配布しています。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>田園風景の広がる郊外に「グループホームどんぐり」はある。側にあるクリークでは鴨の姿も目にすることができる。この施設の強みは 母体が病院だということである。広い敷地内には病院と福祉施設が隣接しているため、緊急時の対応が利用者、家族の大きな安心となっている、またそこで働く職員にとっても心強いものがある。管理者はコロナ禍で外との交流が制限される中、地域との接点を模索し、公民館や交番などへ出向き情報交換を行っている。施設の中は キッチンを中心に左右にユニットが分かれている。広い廊下や居室は開放感だけでなく、ゆとりを感じることができる。居室は使い慣れた家具を持ち込んでも車いすがゆっくり移動できる広さである。職員は利用者本位の支援を心掛け、共に笑顔で過ごしたいと思っている。</p>
--

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所や食堂に掲示し、いつでも確認できるようにしている。定期的な会議などで繰り返し伝え、全職員で共有し理念を心がけてケアに取り組んでいる。	事務所や食堂に掲示し、いつでも確認できるようにしている。定期的な会議などで繰り返し伝え、全職員で共有し理念を心がけてケアに取り組んでいる。	目につくところに掲示するとともに、理念について職員全員で話し合いの機会を持ち、確認し合っている。地域の人との交流の機会を持ち続け、その人らしい暮らしを一緒に考えている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年はコロナの影響で出来なかったが、以前は地域のお祭りや防災訓練、しめ縄作り等の行事に参加したり、月1回公民館でのおはなし会に参加し、保育園の子供たちや、他事業所の利用者と交流している。	今年はコロナの影響で出来なかったが、以前は地域のお祭りや防災訓練、しめ縄作り等の行事に参加したり、月1回公民館でのおはなし会に参加し、保育園の子供たちや、他事業所の利用者と交流している。	自治会には入っていないが、管理者は地域の公民館や交番所などを訪問し、顔の見える関係づくりを心掛けている。コロナ禍で利用者が地域の行事に参加することは控えているが毎年恒例のしめ縄の材料を頂き利用者と一緒に作成した。散歩の時は挨拶のできる関係でもある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で、認知症の方の支援の方法等を話し、地域に向けて発信している。	運営推進会議で、認知症の方の支援の方法等を話し、地域に向けて発信している。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者の状況や活動内容の報告書を2ヶ月に1回送付し、ご意見、ご要望を頂いている。会議内容の議事録は自由に閲覧できる。いただいた意見を職員間でも話し合い、サービスの向上に努めている。また民生委員の方から、地域行事やボランティアの情報を頂き、交流につながったこともある。	入居者の状況や活動内容の報告書を2ヶ月に1回送付し、ご意見、ご要望を頂いている。会議内容の議事録は自由に閲覧できる。いただいた意見を職員間でも話し合い、サービスの向上に努めている。また民生委員の方から、地域行事やボランティアの情報を頂き、交流につながったこともある。	対面での会議はまだ実施していないが構成メンバーへの書面の送付だけではなく、電話などで情報の交換を行っている。感染症対策に対する法人の方針もあり、担当者は今後の会議の在り方を模索している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターとは密接な連携をとり、支援者の情報や受け入れ、研修会やネットワーク会議への参加、運営推進会議への参加など協力関係を築いている。	地域包括支援センターとは密接な連携をとり、支援者の情報や受け入れ、研修会やネットワーク会議への参加、運営推進会議への参加など協力関係を築いている。	コロナ禍により連携の在り方が変化している。対面からネットワークを活用した研修、メールでのやり取りなどが多くなってきたが、密に連絡を取ることで、協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化委員会を開催し、マニュアルや指針に沿って、定期的に研修会を行っている。職員全員で話し合いながらケアに取り組んでいる。	身体拘束適正化委員会を開催し、マニュアルや指針に沿って、定期的に研修会を行っている。職員全員で話し合いながらケアに取り組んでいる。	日中の玄関の施錠はしていない。高齢者の権利擁護や身体拘束、接遇マナーに関する勉強会を事業所の中で実施し、職員の共通認識を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法についての研修を行っている。虐待を見逃すことがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待防止関連法についての研修を行っている。虐待を見逃すことがないように注意を払い、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	機会を設けて、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度についての研修を行っている。また成年後見制度を活用できるよう支援し、利用につながった事例もある。	機会を設けて、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度についての研修を行っている。また成年後見制度を活用できるよう支援し、利用につながった事例もある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、契約書及び重要事項説明書の内容を読み上げながら説明を行い、疑問点に回答し納得された上で、契約の締結を行っている。また、改定時にはその都度説明を行い同意を得ている。	契約時には、契約書及び重要事項説明書の内容を読み上げながら説明を行い、疑問点に回答し納得された上で、契約の締結を行っている。また、改定時にはその都度説明を行い同意を得ている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や希望などを気軽に話しやすくするために、運営推進会議や担当者会議、面会時に声をかけるよう心がけている。また、意見箱を設置し、意見を出しやすいよう配慮している。	意見や希望などを気軽に話しやすくするために、運営推進会議や担当者会議、面会時に声をかけるよう心がけている。また、意見箱を設置し、意見を出しやすいよう配慮している。	家族などの意見や苦情は事業所にとって大切な宝と考え、前向きに捉え会議などで話し合い、反映させている。面会制限解除を望まれる家族の意見もあるが、感染対策の面から慎重に判断したいと考えている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議を月に1回、必要がある場合はその都度開いている。職員の意見を活発に交換し、ケアに取り入れたり、代表者に報告・相談を行っている。	会議を月に1回、必要がある場合はその都度開いている。職員の意見を活発に交換し、ケアに取り入れたり、代表者に報告・相談を行っている。	月1回の会議の場だけでなく、日頃から話のできる関係である。出た意見や要望は管理者から代表者に伝えられ職員処遇など反映されている。利用者と職員の馴染みの関係を配慮して、職員の異動が少ないのもそのひとつである。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務条件については、働きやすいよう個別で相談に応じている。資格や実績に応じた給与水準となっている。	勤務条件については、働きやすいよう個別で相談に応じている。資格や実績に応じた給与水準となっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に法人内で勉強会を行っている。また、外部研修にも参加できる機会を確保している。	定期的に法人内で勉強会を行っている。また、外部研修にも参加できる機会を確保している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センターが開催しているネットワーク会議に出席し、交流の機会を作っている。	地域包括支援センターが開催しているネットワーク会議に出席し、交流の機会を作っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( )	自己評価／ユニットB( )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	契約時や入居時に本人と面会し、生活歴や趣味、不安なことや要望等を聞きとり、本人の言葉に耳を傾け、安心して利用できるよう努めている。	契約時や入居時に本人と面会し、生活歴や趣味、不安なことや要望等を聞きとり、本人の言葉に耳を傾け、安心して利用できるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談を受けたときから継続して、利用者の情報収集をするとともに、家族の困っていることや不安、要望などを聞きとり、安心して利用開始できるよう関係づくりに努めている。	相談を受けたときから継続して、利用者の情報収集をするとともに、家族の困っていることや不安、要望などを聞き、安心して利用開始できるよう関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けたときに、現在の状況できるだけ詳しく聞き、別のサービスが必要だと思われる場合は、そのサービスを紹介している。必要に応じて、具体的な施設を紹介している。	相談を受けたときに、現在の状況できるだけ詳しく聞き、別のサービスが必要だと思われる場合は、そのサービスを紹介している。必要に応じて、具体的な施設を紹介している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者が携わってきた仕事の話や得意分野のことを教えて頂き、入居者一人ひとりが能力に応じて活躍できる場面を作っている。	入居者が携わってきた仕事の話や得意分野のことを教えて頂き、入居者一人ひとりが能力に応じて活躍できる場面を作っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時やホーム便りにおいて利用者の近況を写真で報告したり、行事の予告を行い家族の参加を呼びかけるなどして、関係を築いている。	面会時やホーム便りにおいて利用者の近況を写真で報告したり、行事の予告を行い家族の参加を呼びかけるなどして、関係を築いている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	玄関のガラス越しで面会出来るようにしている。また遠方で面会に来られない方も、スマートフォンやタブレットを持ち込みいただき、電話やテレビ電話で会話できるように支援している。職員が間に入り会話のお手伝いをすることもある。	玄関のガラス越しで面会出来るようにしている。また遠方で面会に来られない方も、スマートフォンやタブレットを持ち込みいただき、電話やテレビ電話で会話できるように支援している。職員が間に入り会話のお手伝いをすることもある。	入居前の地区の民生委員さんが訪問して下さることもある。ガラス越しの面会ではあるが、家族の面会もある。コロナ禍で面会の方法にも変化があったが、遠方に住む若い世代のお孫さんなどからパソコン上での面会もあっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席の場所を配慮したり、職員が間に入るなどして、孤立せず関わり合えるよう努めている。	座席の場所を配慮したり、職員が間に入るなどして、孤立せず関わり合えるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用(契約)が終了しても、面会に行ったり、家族や関係者から情報を得たり、また必要があれば、サービスの紹介や相談にのる等の支援に努めている。	サービス利用(契約)が終了しても、面会に行ったり、家族や関係者から情報を得たり、また必要があれば、サービスの紹介や相談にのる等の支援に努めている。		

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時や、ケアプラン作成時に本人や家族の思いや意向の把握に努めている。また日常の何気ない会話から思いや意向をくみ取り、職員間で情報を共有するよう努めている。意思疎通が困難な場合には、表情などを見ながら本人本意に検討を行っている。	入居時や、ケアプラン作成時に本人や家族の思いや意向の把握に努めている。また日常の何気ない会話から思いや意向をくみ取り、職員間で情報を共有するよう努めている。意思疎通が困難な場合には、表情などを見ながら本人本意に検討を行っている。	入居前の情報は家族から聞くようにしており、ホームでは日々の関りの中で声をかけ、意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の病歴や生活歴、ADL(日常生活動作)の状況や暮らしぶり等を本人や家族、担当ケアマネジャーからの聞き取りにより把握するよう努めている。	入居前の病歴や生活歴、ADL(日常生活動作)の状況や暮らしぶり等を本人や家族、担当ケアマネジャーからの聞き取りにより把握するよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の状態を記録し、1日の過ごし方や心身の状態、本人の有する力等を把握するように努めている。	毎日の状態を記録し、1日の過ごし方や心身の状態、本人の有する力等を把握するように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員全員で検討会議を開き、本人や家族の意向や要望を反映させたケアプランを作成している。	職員全員で検討会議を開き、本人や家族の意見や要望を反映させたケアプランを作成している。	本人や家族には日々の関りの中で、想いや意見を聞いている。アセスメント後職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。利用者や家族の意向を活かし、具体的な支援内容を盛り込んだサービス計画書となっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者個人個人のケース記録を作成し、よく観察する等して記録することを心掛けている。入居者一人一人に担当をつけており、細やかな記録で情報を共有している。	入居者個人個人のケース記録を作成し、よく観察する等して記録することを心掛けている。入居者一人一人に担当をつけており、細やかな記録で情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者の体調が悪化し、治療が必要な場合であっても、医療連携体制等により、治療を受けながら可能な限り入居を継続している。また協力医療機関への受診の介助を行っている。	入居者の体調が悪化し、治療が必要な場合であっても、医療連携体制等により、治療を受けながら可能な限り入居を継続している。また協力医療機関への受診の介助を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	書面による運営推進会議で民生委員や駐在所の方に参加して頂き、情報交換と協力をいただいている。いただいた情報から、地域資源を活用し、楽しんで生活できるよう支援を行っている。	書面による運営推進会議で民生委員や駐在所の方に参加して頂き、情報交換と協力をいただいている。いただいた情報から、地域資源を活用し、楽しんで生活できるよう支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	本人や家族の意向に応じて、それま でのかかりつけ医または協力医療 機関で診療を受けられている。協力 医療機関への受診は職員が介助を 行っている。また希望すれば、協力 医療機関にある歯科を受診するこ ともできる。	本人や家族の意向に応じて、それま でのかかりつけ医または協力医療 機関で診療を受けられている。協力 医療機関への受診は職員が介助を 行っている。また希望すれば、協力 医療機関にある歯科を受診するこ ともできる。	本人や家族の希望する医療機関へ の受診を支援されている。受診には 職員が同行している。複数の医療 機関への受診も同様である。協力 医は週1回定期の往診があり、24 時間の緊急時対応ができる体制も ある。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪 問看護師等に伝えて相談し、個々の利用 者が適切な受診や看護を受けられるよ うに支援している	医療連携をしている訪問看護師と、 随時情報交換をし、指示を受けてい る。必要があれば、看護師が主治 医との間に入り適切に受診できるよ うに支援を行っている。	医療連携をしている訪問看護師と、 随時情報交換をし、指示を受けてい る。必要があれば、看護師が主治 医との間に入り適切に受診できるよ うに支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。又は、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行ってい る。	入院時は安心して治療を受けられ るよう情報提供を行っている。また 早期退院に向けて情報交換等を行 い、病院関係者との関係作りに努め ている。	入院時は安心して治療を受けられ るよう情報提供を行っている。また 早期退院に向けて情報交換等を行 い、病院関係者との関係作りに努め ている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の対応の指針を作 成し、入居時に説明を行っている。 主治医や訪問看護師と連携して支 援を行い、情報の共有に努めてい る。必要があれば随時、本人や家 族に説明し繰り返し意向の確認を行 い、変更があればすぐに対応してい る。	重度化した場合の対応の指針を作 成し、入居時に説明を行っている。 主治医や訪問看護師と連携して支 援を行い、情報の共有に努めてい る。必要があれば随時、本人や家 族に説明し繰り返し意向の確認を行 い、変更があればすぐに対応してい る。	これまでに看取り事例もあり、家族 宿泊も可能な環境も整えている。し かしここ数年、病院での最期を希望 される利用者が多い。これからも重 症化や終末期に向けた方針は継続 していく。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるようにしている。また救急救命の研修を定期的に行い、AEDの使い方や心肺蘇生法を訓練し身に付けている。	急変時の対応マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるようにしている。また救急救命の研修を定期的に行い、AEDの使い方や心肺蘇生法を訓練し身に付けている。	/		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、防災避難訓練を行っている。訓練については、地震や水害、火災による避難訓練、夜間を想定した訓練を行っている。地元消防団にも協力を依頼し、入居者の状態や避難経路等を伝えている。	年2回、防災避難訓練を行っている。訓練については、地震や火災による避難訓練、夜間を想定した訓練を行っている。地元消防団にも協力を依頼し、入居者の状態や避難経路等を伝えている。	事業所独自の避難訓練を年2回実施している。クレークの多い地域の為水害の危険がある。避難箇所は隣接する3階建ての施設になっている。非常食や飲料水の備蓄もある。地域の消防団に緊急時の支援を依頼している。また法人からの支援体制も整っている。地区の交番へは頻りに顔を出し、問題発生時には協力体制を作っている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇やプライバシーの保護に関する研修を行っている。人格を尊重し敬いの気持ちを忘れないようにしている。また、プライバシーに配慮したケアを心がけている。	接遇やプライバシーの保護に関する研修を行っている。人格を尊重し敬いの気持ちを忘れないようにしている。また、プライバシーに配慮したケアを心がけている。	利用者の人格の尊重は理念の一つであり、尊厳を大事にすることをすべての支援の基本としている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の入居者との会話の中で、自己決定できるよう働きかけ、意見を聞いている。担当職員を中心に個別に対応している。	日常の入居者との会話の中で、自己決定できるよう働きかけ、意見を聞いている。担当職員を中心に個別に対応している。	/		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の気持ちを最優先にしたケアを心がけている。職員の都合で切り上げたり、急かしたりせず、本人のペースに合わせて支援を行っている。	本人の気持ちを最優先にしたケアを心がけている。職員の都合で切り上げたり、急かしたりせず、本人のペースに合わせて支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時や入浴時は、服装や髪型を一緒に考えて決めている。希望者には出張理美容サービスを利用し本人の好みのヘアスタイルにカットをしてもらっている。	起床時や入浴時は、服装や髪型を一緒に考えて決めている。希望者には出張理美容サービスを利用し本人の好みのヘアスタイルにカットをしてもらっている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の状態に応じた食事形態で提供している。お茶の湯飲みは、一人ひとり好みの湯飲みを持ち込んでもらっている。利用者の能力に応じて、食事の準備や後片付けをしていただいている。	利用者の状態に応じた食事形態で提供している。お茶の湯飲みは、一人ひとり好みの湯飲みを持ち込んでもらっている。利用者の能力に応じて、食事の準備や後片付けをしていただいている。	管理栄養士が作成した献立と食材が届けられる。ホームの台所でその日の担当者が調理している。行事食などは利用者の意向を聞きながら決めている。季節の果物も積極的に取り入れている。またパン食を希望される利用者も居られ、いろいろなパンを提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設の管理栄養士がたてた献立で栄養バランスのとれた食事を提供している。また一人一人の食事摂取量を記録し、利用者の食べる量に合わせ、間食を提供するときもある。水分補給もこまめにできるよう支援を行っている。	併設の管理栄養士がたてた献立で栄養バランスのとれた食事を提供している。また一人一人の食事摂取量を記録し、利用者の食べる量に合わせ、間食を提供するときもある。水分補給もこまめにできるよう支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入居者一人ひとりの自立度に合わせて、毎食後の歯磨きと口腔ケアを支援している。希望者には、協力医療機関の歯科受診の介助を行い、ケアにつなげている。	入居者一人ひとりの自立度に合わせて、毎食後の歯磨きと口腔ケアを支援している。希望者には、協力医療機関の歯科受診の介助を行い、ケアにつなげている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作り、入居者一人ひとりの排泄パターンの把握をしている。おむつ使用者でも、日中は可能な限りトイレで排泄できるよう支援している。	入居者一人ひとりの排泄チェック表を作り、排泄パターンの把握をしている。おむつ使用者でも、日中は可能な限りトイレで排泄できるよう支援している。	トイレでの排泄を大切にしている。あからさまな誘導ではなく、さりげなく誘導している。低下しないように習慣や排泄パターンに応じた個別の支援が行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日ティータイムで、水分補給をしている。入居者の状態に応じて、体操や散歩等で体を動かし便秘の予防に取り組んでいる。	毎日ティータイムで、水分補給をしている。入居者の状態に応じて、体操や散歩等で体を動かし便秘の予防に取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者の希望や体調に合わせて援助している。拒否がある場合には、無理せず時間や日をあけて、臨機応変に対応している。	入居者の希望や体調に合わせて援助している。拒否がある場合には、無理せず時間や日をあけて、臨機応変に対応している。	週2回の入浴が基本であるが、必要時にはその限りではない。本人の好む温度や時間を見ながら個浴が実施されている。入浴剤などを活用し寛いだ気分で入浴できるような配慮も行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝つきの悪い方には居間でお茶を飲んでもらったり、話し相手になったりして気持ちを落ち着かせ、ゆったりとした気分で自然に眠れるように援助している。	寝つきの悪い方には居間でお茶を飲んでもらったり、話し相手になったりして気持ちを落ち着かせ、ゆったりとした気分で自然に眠れるように援助している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理はホームで行い、その都度職員が手渡し、服薬を確認している。薬の内容は、処方されるたびに記録し、内容を把握している。	薬の管理はホームで行い、その都度職員が手渡し、服薬を確認している。薬の内容は、処方されるたびに記録し、内容を把握している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者の持てる能力や希望に応じ、茶碗拭き、洗濯物たたみ、テーブル拭きなどの役割を持っていただき、生活意欲を高める支援を行っている。また、一人ひとりの楽しみごとや気分転換できるよう支援を行っている。	入居者の持てる能力や希望に応じ、茶碗拭き、洗濯物たたみ、テーブル拭きなどの役割を持っていただき、生活意欲を高める支援を行っている。また、一人ひとりの楽しみごとや気分転換できるよう支援を行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍で、これまでのように外出はできないが、入居者の希望や体調によって敷地内の散歩にでかけ、入居者が季節を感じ気分転換できるよう努めている。	コロナ禍で、これまでのように外出はできないが、入居者の希望や体調によって敷地内の散歩にでかけ、入居者が季節を感じ気分転換できるよう努めている。	コロナ禍で外出制限があるものの法人の広い敷地内を散歩したり外気浴を楽しんでいる。周囲の田園風景や水路を泳ぐ渡り鳥の鴨は、利用者の心をやわらげ、季節を感じさせている。近くにあるフラワーロードの散策も楽しみとなっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の状態や家族の希望により、少額のお金を管理されている。本人の希望に応じて職員と一緒に支払いを行っている。	本人の状態や家族の希望により、少額のお金を管理されている。本人の希望に応じて職員と一緒に支払いを行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	入居者の方が電話を使いやすいように日常的に言葉かけを行っている。ご家族からの電話を取り次いだり、電話をかけたいと要望があれば、その都度支援を行っている。また、年末には年賀状を出す支援を行っている。	入居者の方が電話を使いやすいように日常的に言葉かけを行っている。ご家族からの電話を取り次いだり、電話をかけたいと要望があれば、その都度支援を行っている。また、年末には年賀状を出す支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	過ごしやすい明るさや室温等に配慮し、花や飾り物などで季節感を取り入れ、居心地よく過ごせるよう工夫している。各居室の表札やトイレの表示を手作りで作成し、わかりやすく家庭的な雰囲気に努めている。	過ごしやすい明るさや室温等に配慮し、花や飾り物などで季節感を取り入れ、居心地よく過ごせるよう工夫している。各居室の表札やトイレの表示を手作りで作成し、わかりやすく家庭的な雰囲気に努めている。	玄関には季節の花がプランターで育てられており、その横には木製の椅子が置かれ、散歩に出た人は一休みできる。建物の中はオープンキッチンとロビーを中央に配置され両側にそれぞれのユニットがある。廊下は広く、トイレも車いす対応でも余裕のある造りとなっている。トイレのドアも全面開き間口が広がる工夫がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下を含む共有空間を広く取り、リビングには畳を使用している。冬場にはこたつを置くこともあり、応接セットや食堂など、入居者が好きな場所を選べるようにしている。外にはベンチも配置している。	廊下を含む共有空間を広く取り、リビングには畳を使用している。冬場にはこたつを置くこともあり、応接セットや食堂など、入居者が好きな場所を選べるようにしている。外にはベンチも配置している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は広く取り、布団は持ち込みと貸し出しを選べるようにしている。使い慣れた家具や時計などを持ち込んでいただき、自分の部屋、居心地の良い部屋となるよう工夫をしている。入居者やご家族の写真を飾ったり、ホームで取り組まれた作品を掲示したりしている。	居室は広く取り、布団は持ち込みと貸し出しを選べるようにしている。使い慣れた家具や時計などを持ち込んでいただき、自分の部屋、居心地の良い部屋となるよう工夫をしている。入居者やご家族の写真を飾ったり、ホームで取り組まれた作品を掲示したりしている。	居室の入り口には木製の表札があり、大きな文字で苗字が書かれている。使い慣れた家具などが持ち込まれ、心地良い空間となっている。車いすでの介助にも余裕のある広さがある。持ち込まれた布団の柄で自分の部屋だと認識される利用者も居られるとのこと。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	食堂の手洗い洗面台は、椅子に腰掛けたまま使用できるように低くなっている。台所の流しや調理台等も高齢者に適した高さになっている。物干し台の高さも調整し、入居者が使いやすいように配慮し、浴室やトイレの床は滑りにくい材質になっている。	食堂の手洗い洗面台は、椅子に腰掛けたまま使用できるように低くなっている。台所の流しや調理台等も高齢者に適した高さになっている。物干し台の高さも調整し、入居者が使いやすいように配慮し、浴室やトイレの床は滑りにくい材質になっている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない